

ひごろ しせい ごりかい ごきょうりょく まこと
日頃より市政に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

ひろしまし げんざい れいわ ねんど れいわ ねんど けいかくきかん しょうがいしゃけいかくおよ
広島市では現在、令和6年度から令和11年度までを計画期間とする障害者計画及び、
れいわ ねんど れいわ ねんど けいかくきかん だい きひろしまししょうがいふくしけいかく だい き
令和6年度から令和8年度までを計画期間とする第7期広島市障害福祉計画・第3期
ひろしまししょうがいふくしけいかく さくてい む とりくみ すす
広島市障害児福祉計画の策定に向けた取組を進めています。そのため、市民の皆さまの
ふくし りようじつたい ふくし かん いしき いこう はあく けいかくさくてい しさくすいしん
福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に
やくだ もくてき ちょうさ じっし
役立てることを目的にアンケート調査を実施することになりました。

ちょうさ たいしょうしゃ しんたいしょうがいしゃてちょう りよういくてちょう も さいみまん かた なか
この調査の対象者は、身体障害者手帳、療育手帳をお持ちの18歳未満の方の中から
むさく い ちゅうしゅつ
無作為に抽出しております。

ごかいとう ないよう こじん とくてい かたち こうひょう
御回答いただいたアンケートの内容については、個人を特定できるような形で公表
いっさい
されることは一切ありませんので、御協力くださいますようお願いいたします。

【お答えいただく前に】

- このアンケート票に名前を書いていただく必要はありません。個人の秘密は守られますから、安心してお答えください。もし、答えたくないことや、わからないことがありましたら、無理にお答えいただく必要はありません。
- この調査は、できるだけ障害のある御本人がお答えください。
ごほんにん きにゅう ばあい ごほんにん こた ばあい か
御本人が記入できない場合や御本人が答えにくい場合には、代わってどなたかが、御本人の意見を聞きながら、又は、御本人の立場に立って、気持ちを考えながらお書きください。
- 回答は、☐ の中のあてはまる項目の番号に○をつけてください。なお、「その他」の場合には、() の中にその具体的な内容をお書きください。
- てんじばん おんせい ばん ようい ひつよう かた か き ごれんらく
点字版、音声コード版も用意しておりますので、必要な方は下記まで御連絡いただければ、ごじたく ゆうそう
御自宅まで郵送します。

ごきにゅう ひょう がつ にち どうふう へんしんようふうとう
御記入いただいたアンケート票は、○月○日（○曜日）までに、同封の返信用封筒により、広島市役所まで御返送ください。切手は不要です。

ごへんそう ふうとう さしだしん なまえ じゅうしょ か
なお、御返送にあたって、封筒に差出人であるあなたの名前や住所を書いていただく必要はありません。

れんらくさき
【連絡先】 〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

ひろしましけんこうふくしきょくしょうがいふくしか
広島市健康福祉局障害福祉課

でんわ
電話：082-504-2147

ファクス
FAX：082-504-2256

イー
Eメール：shougai@city.hiroshima.lg.jp

- あなた（障害のある御本人）御自身のことについておたずねします。

問1 このアンケートを記入しているのはどなたですか。あてはまるものに1つ○をつけてください。（以下「○は1つ」と表記。）

1. 本人	2. 配偶者	3. 子ども
4. 親（父・母）	5. その他の親族	6. 成年後見人
7. 利用事業所の職員	8. その他（ ）	

問2 あなた（障害のある御本人。他の問も同様。）の年齢について記入してください。（○は1つ）

年齢（令和○年○月1日現在）
満（ ）歳

問3 あなたの住まいはどちらですか。（○は1つ）

1. 中区	2. 東区	3. 南区
4. 西区	5. 安佐南区	6. 安佐北区
7. 安芸区	8. 佐伯区	9. その他

問4 あなたの障害の種別や、お持ちの障害者手帳の等級等はどれですか。

(1) 身体障害者手帳（○は1つ）

1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
5. 5級	6. 6級	7. 持っていない	

身体障害の種類（部位）はどれですか。（○はいくつでも）

- 目に障害がある（視覚障害）
- 耳に障害がある（聴覚又は平衡機能障害）
- 聞く・話す・読む・書くことに障害がある、ものがかめない（音声・言語・そしゃく機能障害）
- 手足のまひなどにより、日常生活での動作に支障がある（上肢機能障害、下肢機能障害、移動機能障害、体幹機能障害）
- じん臓、心臓、呼吸器、肝臓、小腸又はぼうこう・直腸の障害（内部障害）
- ウイルスによる免疫機能の障害（免疫機能障害）

(2) 療育手帳（○は1つ）

1. ㊶	2. A	3. ㊸	4. B	5. 持っていない
------	------	------	------	-----------

(3) 精神障害者保健福祉手帳 (〇は1つ)

1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 持っていない
-------	-------	-------	-----------

(4) 自立支援医療 (精神通院) 受給者証

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

(5) 発達障害 (発達障害の診断名)

1. アスペルガー症候群	2. 自閉症
3. 1、2以外の広汎性発達障害	4. 学習障害 (LD)
5. 注意欠如・多動性障害 (ADHD)	
6. その他 ()	
7. ない	

(6) 高次脳機能障害

1. ある	2. ない
-------	-------

(7) 特定医療費 (指定難病) 受給者証

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

(8) 障害支援区分の認定状況 (〇は1つ)

1. 区分1	2. 区分2	3. 区分3	4. 区分4
5. 区分5	6. 区分6	7. 非該当	8. 受けていない

(9) 介護保険の要介護度の認定状況 (〇は1つ)

1. 要支援1	2. 要支援2	3. 要介護1	4. 要介護2
5. 要介護3	6. 要介護4	7. 要介護5	8. 受けていない

問5 あなたは現在、医療的ケアを受けていますか。(〇は1つ)

1. 受けている	2. 受けていない
----------	-----------

問5で「1. 受けている」に〇をつけた方におたずねします。あなたが現在受けている医療的ケアはどれですか。また、行政に求める支援はどれですか。(〇はいくつでも)

現在受けている医療的ケア	1. 気管切開	2. 人工呼吸器 (レスピレーター)
	3. 吸入	4. 吸引
行政支援	5. 胃ろう・腸ろう	6. 鼻腔経管栄養
	7. 中心静脈栄養 (IVH)	8. 透析
	9. カテーテル留置	10. ストマ (人工肛門・人工膀胱)
	11. 服薬管理	12. その他
	1. ご家族等のレスパイト	2. 通学・通園時の移動支援
	3. 災害時の避難先確保	4. 短期入所施設の拡充
5. 特にない	6. その他 ()	

● 生活の場についておたずねします

問6 あなたは現在、どのように暮らしていますか。(○は1つ)

1. 一人で暮らしている
2. 家族と暮らしている
3. グループホームで暮らしている
4. 福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている
5. 病院に入院している
6. その他（ ）

問7 あなたは今後（将来）、どこで暮らしたいと思いますか。(○は1つ)

1. 今のまま生活したい
2. グループホームなどを利用したい
3. 家族と一緒に生活したい
4. 一般の住宅で一人暮らしをしたい
5. その他（ ）

問8 地域で安心して暮らせる住まいを確保するために特に必要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

1. 建物（住まい）がバリアフリー化されている（バリアフリー化できる）こと
2. バリアフリーのための住宅改造等（リフォーム）の費用の補助があること
3. 高齢者や障害者など住宅の確保に配慮が必要な人の入居を拒まないこと
4. 入居できる一般住宅の紹介や斡旋をするサービスがあること
5. バリアフリー化された市営住宅等を充実すること
6. 共同で生活し、介助等の支援を受けられる住まい（グループホーム等）を増やすこと
7. 個別で生活し、必要な時にすぐに支援を受けることができる住まいを増やすこと
8. 住まいに関する相談や紹介を行う相談窓口を設けること
9. 特にない
10. その他（ ）

問 9 住まいの確保のほかに地域で生活するために特に必要だと思うことは何ですか。(〇は2つまで)

1. 身近に介助者や相談できる相手がいること
2. 身近に仲間や家族がいること
3. 地域で生活できるだけの収入があること
4. 在宅で医療ケアなどが適切に利用できること
5. 周囲の交通機関や公共施設などの環境が整備されていること
6. 防犯や災害時の支援などの仕組みが整っていること
7. 地域の人たちに障害や障害者への理解があること
8. 地域に休日や夜間でも外来診療や入院が可能な病院・診療所があること
9. 特にない
10. その他 ()

問 10 福祉のまちづくり(バリアフリー化)について、広島市が重点的に進めていく必要があるのはどのようなことだと思いますか。

1. 乗り降りがしやすいバス・電車を増やすこと
2. 駅の階段・段差、改札口等を整備すること
3. 公共の建物の階段・段差、出入口等を整備すること
4. 道路の段差、誘導ブロック等を整備すること
5. 視覚障害者向けの音声案内や音響信号機、聴覚障害者向けの文字案内などを充実すること
6. 交通機関や公共の建物などで、わかりやすいマークや色を活用した表示(ユニバーサルデザイン)を充実すること
7. 道路上にある自転車や看板など通行の妨げになる物を整理・撤去すること
8. 車いす使用者用駐車区画を充実すること
9. 障害者等に配慮されたエレベーターを充実すること
10. 車いす使用者やオストメイト等対応トイレを充実すること
11. 特にない
12. その他 ()

● 日常生活や就労についておたずねします

問 1 1 外出の状況について、具体的にお答えください。

(1) あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(〇は3つまで)

1. 通勤・通学・通所	2. 訓練やリハビリ
3. 医療機関への受診	4. 買い物
5. 友人・知人に会う	6. 趣味やスポーツ
7. グループ活動への参加	8. 散歩
9. あまり外出しない	
10. その他 ()	

(2) あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(〇は1つ)

1. 父母・祖父母・兄弟	2. 配偶者
3. 子ども	4. ヘルパーや施設の職員
5. 一人	6. その他 ()

(3) 外出する時に主に利用する交通機関は何ですか。(〇は2つまで)

1. 公共交通機関 (J R、電車、バス、アストラムラインなど)	
2. タクシー	3. 自家用車
	4. 自転車
5. その他 ()	

問 1 2 食事の準備は、具体的にどのようにしていますか。(〇は1つ)

1. 自分でつくっている
2. 家族がつくっている
3. ヘルパーがつくっている
4. ほとんど外食している (食事回数の3分の2以上)
5. ほとんど弁当を買っている (食事回数の3分の2以上)
6. その他 ()

問 1 3 見守りが必要な障害者を対象に、食事を届けた際に安否確認を行う配食サービス制度 (食事は自己負担) があれば、利用の必要性を感じますか。(〇は1つ)

1. 今すぐ利用の必要性を感じる
2. いずれ利用の必要性があると感じる
3. 現在、高齢者配食サービスを利用している
4. 配食サービス以外の食事サービス (食材の配達、家事支援など) を利用したい
5. 必要ない (利用したくない)
6. その他 ()

問 1 4 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

1. 会社勤めや自営業、家業などで収入を得る仕事をしている → (1)～(3)へ
2. ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている
3. 専業主婦(主夫)をしている
4. 福祉施設、作業所などに通っている(就労継続支援A型も含む)
5. 病院などのデイケアに通っている
6. リハビリテーションを受けている
7. 自宅で過ごしている
8. 入所している施設や病院などで過ごしている
9. 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている
10. 特別支援学校(小、中、高等部)に通っている
11. 一般の小中学校、高校に通っている
12. 幼稚園、保育所、障害児通園施設などに通っている
13. その他()

問 1 5 へ

(1) 問 1 4 で「1」に○をつけた方におたずねします。現在の仕事に就く主なきっかけは何でしたか。(○は1つ)

1. ハローワークの紹介
2. 障害者就業・生活支援センターの紹介
3. 福祉作業所や障害福祉サービス事業所などの訓練
4. 学校での進路指導・実習
5. 職業訓練校などの指導・紹介
6. 知人・親族の紹介
7. 親のあとを継いだなど(起業も含む)
8. 求人広告、インターネットなどで自分で探した
9. その他()

(2) どのような働き方で仕事をしていますか(○は1つ)

1. 正職員で他の職員と勤務条件などに違いはない
2. 正職員で短時間勤務などの配慮がある
3. パート・アルバイトなどの非常勤職員、派遣職員
4. 自営業、農林水産業など
5. その他()

(3) 現在の仕事を始めてから何年になりますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上3年未満 | 3. 3年以上5年未満 |
| 4. 5年以上10年未満 | 5. 10年以上20年未満 | 6. 20年以上 |

→問17へ

問15 問14で「1」以外を選択した18～64歳の方におたずねします。あなたは、今後収入を得る仕事をしたいと思いますか。(○は1つ)

1. 仕事をしたいと思う →問16へ
2. 仕事をしたいと思わない、またはできない →問17へ

問16 問15で「1. 仕事をしたいと思う」に○をつけた方におたずねします。就職前どのような支援があれば、安心して就職しやすくなると思いますか。(○は2つまで)

1. 就職前に自分の仕事の適性を判断・評価してもらうこと
2. 就職前に専門的な技能を習得するための訓練を受けること
3. 就職前に生活のリズムを整えるなどの訓練を受けること
4. 希望する職場で試験的に一定期間働く機会があること
5. 職業訓練や支援などは受けたくない、受ける必要はない
6. その他 ()

問17 全員におたずねします。障害者が就労するために特に必要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|---|-------------------------|
| 1. 通勤しやすいこと | 2. 働きながら安心して通院できること |
| 3. 希望する勤務時間や日数を選べること | 4. 賃金面で満足のいく待遇が受けられること |
| 5. 障害に応じた仕事があること | 6. 職場での差別や偏見を無くすこと |
| 7. 自宅で仕事ができること | 8. 職場で良い人間関係が築けること |
| 9. 職場で介助や援助等が受けられること | 10. 職場に障害や障害者への理解者がいること |
| 11. 相談できるジョブコーチ(障害者が職場に対応できるよう、障害者や雇用主等に対して支援・助言等を行う援助者)などの支援者・指導者がいること | |
| 12. 職場に障害者用の設備や機器が整っていること | |
| 13. 障害者を雇用する企業を増やすこと | |
| 14. 特になし | |
| 15. その他 () | |

● 福祉サービス等の利用状況についておたずねします。

問 18 障害福祉サービス等について、あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(①から⑦のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方に回答(番号に○)してください。利用状況について障害福祉サービス・地域生活支援事業の受給者証のある方はそれを見て記入してください。)

区 分	現在利用 しているか		今後利用 したいか	
	利用して いる	利用して いない	利用 したい	利用 しない
① 居宅介護 (ホームヘルプ) 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を行うサービス	1	2	1	2
② 重度訪問介護 重度の障害があり常に介護が必要な方に、自宅で入浴や排せつ、食事などの介助や外出時の移動の補助を行うサービス	1	2	1	2
③ 同行援護 視覚障害により移動が大変困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の補助などを行うサービス	1	2	1	2
④ 行動援護 知的障害や精神障害により行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービス	1	2	1	2
⑤ 重度障害者等包括支援 常に介護が必要な方で、介護の必要の程度が大変高い方に、居宅介護などのサービスを包括的に提供するサービス	1	2	1	2
⑥ 生活介護 常に介護が必要な方に、生産活動や創作的活動の機会を提供するとともに、必要に応じて施設で入浴や排せつ、食事の介護を提供するサービス	1	2	1	2
⑦ 自立訓練 (機能訓練) 身体機能・生活能力の維持・向上のための必要な訓練を行うサービス	1	2	1	2

区 分	現在利用 しているか		今後利用 したいか	
	利用して いる	利用して いない	利用 したい	利用 しない
じりつくんれん せいかつくんれん ⑧ 自立訓練（生活訓練） ちい き せいかつ こま ひつよう くんれん おこな 地域での生活に困らないよう必要な訓練を行 うサービス	1	2	1	2
しゅうろういこうしえん ⑨ 就 労 移行支援 つうじょう じぎょうしょ はたら かた いってい きかん しゅうろう ひつよう 通常の事業所で働 きたい方に、一定の期間、就 労に必要な ちしきおよ のうりよく こうじょう くんれん おこな 知識及び能 力の向 上のための訓練を行 うサービス	1	2	1	2
しゅうろうけいぞくしえん エーがた ⑩ 就 労 継続支援（A型） きぎょうとう はたら こんなん かた しゅうろう きかい ていきょう せいさん 企業等で働 くことが困難な方に、就 労の機会の提 供や生産 かつどうとう きかい ていきょう ちしき のうりよく こうじょう くんれん 活動等の機会の提 供、知識や能 力の向 上のための訓練を おこな こようけいやく 行 うサービス（雇用契約あり）	1	2	1	2
しゅうろうけいぞくしえん ビーがた ⑪ 就 労 継続支援（B型） きぎょうとう はたら こんなん かた しゅうろう きかい ていきょう せいさん 企業等で働 くことが困難な方に、就 労の機会の提 供や生産 かつどうとう きかい ていきょう ちしき のうりよく こうじょう くんれん 活動等の機会の提 供、知識や能 力の向 上のための訓練を おこな こようけいやく 行 うサービス（雇用契約なし）	1	2	1	2
しゅうろうていちゃくしえん ⑫ 就 労 定 着 支援 しゅうろういこうしえんとう りようご きぎょうとう しゅうろう かた きぎょう 就 労移行支援等を利用後、企業等へ 就 労した方に対し、企業や いりようきかんとく れんらくくちようせい しゅうろう しょう にちじようせいかつ 医療機関等との連絡調 整、就 労に伴い生 じる日常生活または しゃかいせいかつじょう もんだい かん そうだん ひつよう しえん おこな 社会生活上の問題に関する相談や必要な支援を行 うサービス	1	2	1	2
りょうようかいご ⑬ 療 養 介 護 いりよう ひつよう かた つね かいご ひつよう かた おも ひるま 医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、主に昼間に びょういんとう き のうくんれん りょうようじょう かんり かんご ていきょう 病 院等において機能訓練、療 養 上の管理、看護などを提 供 するサービス	1	2	1	2
たんきにゅうしょ ⑭ 短期入 所（ショートステイ） ざいたく しょうがいしゃ じ かいご かた びょうき ばあい 在宅の障 害者（児）を介護する方が病気の場合などに、 しょうがいしゃ じ しせつ たんきかんにゅうしょ にゅうよく はい しょくじ 障 害者（児）が施設に短期間入 所し、入 浴、排せつ、食事の かいご おこな 介護などを行 うサービス	1	2	1	2
じりつせいかつえんじょ ⑮ 自立生活援助 しせつ びょういんとう たいしよ たいいん ぐ はじ かた たい 施設や病 院等を退所または退院し、ひとり暮らしを始める方に対 じりつ にちじようせいかつ ていきてき ほうもん かんけいきかん し、自立した日 常生活ができるよう、定期的に訪問し、関係機 れんらくくちようせい そうだんたいおうとう おこな 関との連絡調 整や相談対応等を行 うサービス	1	2	1	2

区 分	げんざいりよう 現在利用 しているか		こんごりよう 今後利用 したいか	
	りよう 利用して いる	りよう 利用して いない	りよう 利用 したい	りよう 利用 しない
きょうどうせいかつえんじょ ⑯ 共同生活援助（グループホーム） やかん きゅうじつ きょうどうせいかつ おこな じゅうきょ にゅうよく はいせつ しょくじ 夜間や休日、共同生活を行う住居で、入浴、排泄、食事 かいご そうだん にちじょうせいかつじょう えんじょ おこな の介護や相談、日常生活上の援助を行うサービス	1	2	1	2
しせつにゅうしよしえん ⑰ 施設入所支援 しせつ にゅうしよ しょうがいしゃ じ たい おも やかん にゅうよく はい 施設に入所する障害者（児）に対し、主に夜間、入浴、排 せつ、食事の介護などの支援を行うサービス	1	2	1	2
そうだんしえん ⑱ 相談支援 ふくし かん もんだい かいごしゃ そうだん おう ひつよう じょうほう 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な情報 ていきょう じよげん おこな の提供や助言などを行うサービス	1	2	1	2
いどうしえん しゃかいさんかしえん ⑲ 移動支援、社会参加支援ガイドヘルパー えんかつ がいしゅつ いどう しえん 円滑に外出できるように、移動を支援するサービス	1	2	1	2
ちいきかつどうしえん ⑳ 地域活動支援センター そうさくかつどうまた せいさんかつどう きかい ていきょう おこな 創作活動又は生産活動の機会の提供を行うサービス	1	2	1	2
にっちゅういちじしえん ㉑ 日中一時支援 しせつ にっちゅう みまも おこな 施設などで日中に見守りなどを行うサービス	1	2	1	2
じどうはつたつしえん ㉒ 児童発達支援 にちじょうせいかつ きほんてき せいかつしゅうかん うんどう あそ げんご 日常生活における基本的な生活習慣、運動や遊び、言語、 しゅうだん さんか ちから かんが こうどう ちから み 集団に参加する力、考えて行動する力を身につけるための しえん おこな 支援を行うサービス	1	2	1	2
ほうかごどう ㉓ 放課後等デイサービス がっこう じゅぎょうしゅうりょうご がっこう きゅうこうび きほんてき せいかつしゅうかん 学校の授業終了後や学校の休校日に、基本的な生活習慣 み ひつよう くんれん しゃかい こうりゅう そくしん を身につけるために必要な訓練や、社会との交流の促進など しえん おこな の支援を行うサービス	1	2	1	2
ほいくしょうほうもんしえん ㉔ 保育所等訪問支援 ほいくしょうほうもん しょうがいじ たい しょうがいじいがい じどう 保育所等を訪問し、障害児に対して、障害児以外の児童との しゅうだんせいかつ せんもんてき しえん おこな 集団生活になじむための専門的な支援などを行うサービス	1	2	1	2
いりょうがたじどうはつたつしえん ㉕ 医療型児童発達支援 にちじょうせいかつ きほんてき せいかつしゅうかん うんどう あそ げんご 日常生活における基本的な生活習慣、運動や遊び、言語、 しゅうだん さんか ちから かんが こうどう ちから み 集団に参加する力、考えて行動する力を身につけるための しえん ちりょう おこな 支援と治療を行うサービス	1	2	1	2
ふくしがたじどうにゅうしよしえん ㉖ 福祉型児童入所支援 しょうがいじにゅうしよしせつ にゅうしよ しょうがいじ たい きほんてき せいかつ 障害児入所施設に入所する障害児に対して、基本的な生活 しゅうかん うんどう あそ げんご しゅうだん さんか ちから かんが こうどう 習慣、運動や遊び、言語、集団に参加する力、考えて行動す ちから み しえん おこな る力を身につけるための支援を行うサービス	1	2	1	2

区 分	げんざいりよう 現在利用 しているか		こんごりよう 今後利用 したいか	
	りよう 利用して いる	りよう 利用して いない	りよう 利用 したい	りよう 利用 しない
いりようがたじどうにゆうしよしえん ②⑦医療型児童入所支援 しょうがいじにゆうしよせつ していりようきかん にゆうしよとう しょうがいじ 障害児入所施設や指定医療機関に入所等をする障害児に たい きほんてき せいかつしゅうかん うんどう あそ げんご しゅうだん さんか 対して、基本的な生活習慣、運動や遊び、言語、集団に参加す る力、考えて行動する力を身につけるための支援や治療を おこな 行うサービス	1	2	1	2
②⑧その他 ()	1	2	1	2

※②②～②⑦については、障害児のみ

問 19 現在、幼稚園や保育所、学童保育などの「子ども・子育て支援」を利用していますか。
(〇は1つ)

1. 利用している → (1)へ 2. 利用していない → (2)へ

(1) 問19で「利用している」に○をつけた方におたずねします。どのような子ども・子育て支援を利用していますか。(○は1つ)

1. 保育所、認定こども園
2. 幼稚園
3. その他認可外の保育所
4. 放課後児童クラブ（学童保育）
5. その他（ ）

→ 問 20へ

(2) 問19で「^{りよう}利用していない」に○をつけた^{かた}方におたずねします。^{りよう}利用していない^{りゆう}理由は^{なん}何ですか。(○はいくつでも)

1. (父親が母親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 祖父母や親戚がみている
3. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
4. 利用したいが、障害の程度や医療的ケアに応じた体制が整っていない
5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. まだ小さいため、いずれ利用しようと考えている
9. 特にない、わからない

→ ^{とい}問 20へ

問20 全員^{ぜんいん}におたずねします。次のサービス^{サービス}を利用^{りよう}している・していないにかかわらず、子ども^{こども}・子育て^{こそだ}で支援^{しえん}として、「定期的^{ていきてき}に」利用^{りよう}したいと考える^{かんが}のはどれですか。(〇はいくつでも)

1. 保育所、認定こども園
2. 幼稚園
3. その他認可外の保育所
4. 放課後児童クラブ（学童保育）
5. その他（ ）
6. 特になし、分からない

● アイシーティー じょうほう (情報・コミュニケーション技術) の利用についておたずねします。

問 2 1 あなたは、福祉に関する情報を、主にどこ(誰)から入手しますか。(〇は3つまで)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 広報紙「ひろしま市民と市政」 | 2. 市のホームページ |
| 3. 新聞やテレビ、ラジオ | 4. 市のホームページ以外のインターネット |
| 5. 区役所などの市の窓口 | 6. 福祉施設、事業所 |
| 7. 医療機関 | 8. 障害者団体、患者団体など |
| 9. 民生委員・児童委員 | 10. 障害者相談員 |
| 11. 家族や友人・知人 | 12. 特にな |
| 13. その他 () | |

問 2 2 情報を得るのに困ったことがありますか。(〇は2つまで)

1. 情報量が少ない
2. 点訳、音訳(朗読)等による情報提供が不十分
3. 手話通訳、要約筆記、盲ろう者通訳等による情報提供が不十分
4. 情報の内容が分かりにくい、または説明不足
5. その他 ()

問 2 3 あなたは、インターネットを利用したパソコン・タブレットやその他の通信機器(パソコンに近い機能のある多機能携帯電話(スマートフォン等))を持って(使って)いますか。

1. 持って(使って)いる → 問 2 4 へ
2. 持って(使って)いない → 問 2 5 へ

問 2 4 問 2 3で「1. 持って(使って)いる」に〇をつけた方におたずねします。あなたは、パソコン等を使う際に特に困ること(不安なこと)がありますか。(〇は3つまで)

1. 操作がわからないときに、教えてくれる人が身近にいない
2. 機器や通信にかかる費用が高い
3. キーボードや周辺機器、ソフトウェアが使いづらい(自分に合っていない)
4. 画面の表示やデザイン(色やレイアウトなど)がわかりにくい
5. 音声聞きづらい
6. インターネットによる悪徳商法(架空・不当請求)
7. 個人情報流出
8. コンピューターウイルスへの感染
9. 特にな
10. その他 ()

● 健康づくりや文化芸術活動などについておたずねします。

問 2 5 あなたは、この1年間に健康診査（健康診断）又はがん検診を受けましたか。

- | | |
|--------|-----------|
| 1. 受けた | 2. 受けていない |
|--------|-----------|

問 2 6 あなたは、この1年間に歯の治療や歯科健診を受けましたか。

- | |
|----------------------|
| 1. 市内または近隣の歯医者に行っている |
| 2. 障害者専門の歯医者に行っている |
| 3. 訪問歯科診療を受けている |
| 4. 治療やケアをしたいができていない |
| 5. 特に必要ない |
| 6. その他（ ） |

問 2 7 あなたは、健康づくりに関して、主にどのようなことを相談したいですか。（〇は3つまで）

- | |
|---|
| 1. からだの健康やけがの予防、治療に関すること |
| 2. 二次障害（元々の障害以外の障害。加齢に伴う新たな障害を含む）に関すること |
| 3. 歯の手入れに関すること |
| 4. 栄養バランスのとれた食事に関すること |
| 5. 栄養補助食品（サプリメント）や薬に関すること |
| 6. メタボリックシンドロームに関すること |
| 7. 健康診査（健康診断）の結果に関すること |
| 8. ウォーキングの方法など運動に関すること |
| 9. 特にない |
| 10. その他（ ） |

問 2 8 地域の活動や行事へ参加したことはありますか。（〇はいくつでも）

- | |
|--------------------|
| 1. 市の催し・行事 |
| 2. 町内会のお祭りなどの催し・行事 |
| 3. 町内の活動 |
| 4. 障害者団体の活動 |
| 5. ボランティア団体の活動 |
| 6. スポーツ大会への参加 |
| 7. 参加したことがない |
| 8. その他（ ） |

● ^{そうだんとう}相談等についておたずねします。

問 2 9 ^{あなた}が、^{なや}悩みや^{こま}困ったことを^{そうだん}相談するのは誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|---|---|
| 1. ^{かぞく} 家族・ ^{しんせき} 親戚 | 2. ^{きんじょ} 近所の人 |
| 3. ^{ゆうじん} 友人・ ^{ちじん} 知人 | 4. ^{くやくしよ} 区役所、 ^{じどうそうだんしよ} 児童相談所などの ^{ぎやうせいきかん} 行政機関 |
| 5. ^{しょうがいしゃだんたい} 障害者団体、 ^{かんじゃだんたい} 患者団体や ^{かぞくかい} 家族会 | 6. ^{みんせいいいん} 民生委員・ ^{じどういいん} 児童委員 |
| 7. ^{しょうがいしゃそうだんいん} 障害者相談員 | 8. ^{そうだんしえんじぎょうしよ} 相談支援事業所 |
| 9. ^{しせつ} 施設や ^{さぎょうしよ} 作業所の ^{しよくいん} 職員 | 10. ^{きょたくかいご} 居宅介護のヘルパー |
| 11. ^{はったつしょうがいしゃしえん} 発達障害者支援センター | 12. ^{ちいきほうかつしえん} 地域包括支援センター |
| 13. ^{しゃかいふくしきぎょうざい} 社会福祉協議会 | 14. ^{いし} 医師や ^{かんごし} 看護師などの ^{いりょうかんけいしゃ} 医療関係者 |
| 15. ^{ピアサポーター} | 16. ^{がっこう} 学校の ^{せんせい} 先生 |
| 17. ^{しよくば} 職場の人 | 18. ^{しょうがいしゃしゅうぎょう} 障害者就業・ ^{せいかつしえん} 生活支援センター |
| 19. ^た その他（ | ） |
| 20. ^{なや} 悩みや ^{こま} 困ったことはない | |
| 21. ^{そうだん} 相談したいができない（しない） | → 問 3 1 へ |

→ 「21. ^{そうだん}相談したいができない（しない）」以外に○をつけた方は問 3 2 へ

問 3 0 ^{問 2 9}で「21. ^{そうだん}相談したいができない（しない）」と答えた方におたずねします。^{そうだん}相談できない（しない）^{おも}主な理由は何ですか。（○は2つまで）

1. ^{だれ}誰（どこ）に^{そうだん}相談していいかわからない
2. ^{みぢか}身近な^{ちいき}地域に^{そうだん}相談できるところがない
3. ^{やかん}夜間や^{きゅうじつ}休日などに^{そうだん}相談できるところがない
4. ^{そうだん}相談しても^{まんぞく}満足な^{じよげん}助言や^{かいとう}回答が^え得られない
5. プライバシー^{ほご}保護に^{ふあん}不安がある
6. ^{とく}特にない
7. ^たその他

（ ）

→ 問 3 1 へ

問 3 1 ^{ぜんいん}全員におたずねします。^{ひろしまし}広島市には、^{しょうがいしゃ}障害者の^{そうだん}相談に^{おう}応じて、^{ふくし}福祉サービスの^{りよう}利用
^{えんじよ}援助や^{かくしゅじょうほう}各種^{ていきょう}情報の^{とうり}提供、^{しょうがいじしえんりようけいかく}サービス等利用計画・^{さくせい}障害児支援利用計画の^{おこな}作成を ^し行っている
^{そうだんしえんじぎょうしよ}相談支援事業所がありますか、^し知っていますか。（○は1つ）

1. ^{そうだん}相談したことがある
2. ^{ばしよ}場所や^{れんらくさき}連絡先を知っているが、^{そうだん}相談したことはない
3. あるのは^き聞いたことはあるが、^{ばしよ}場所や^{れんらくさき}連絡先がわからない
4. ^し知らない

問3 2 サービス等利用計画・障害児支援利用計画について、おたずねします。

(1) サービス等利用計画・障害児支援利用計画やセルフプランは作成していますか。(○は1つ)

1. サービス等利用計画を作成した → 問3 3 へ
2. 障害児支援利用計画を作成した → 問3 3 へ
3. セルフプランを作成した → (2) へ
4. 作成していない → (3) へ
5. わからない → 問3 3 へ

(2) 問3 2 (1)で「3. セルフプランを作成した」に○をつけた方におたずねします。その理由は何かですか。(○は1つ)

1. 相談支援事業所が利用できなかった
2. 自分で作成したかった
3. わからない

→ 問3 3 へ

(3) 問3 2 (1)で「4. 作成していない」に○をつけた方におたずねします。その理由は何ですか。(○は1つ)

1. 相談支援事業所が利用できなかった
2. どこに相談したらよいかわからない
3. これから作成しようと思っている
4. 作成する必要はないと思っていた
5. 作成する必要があることを知らなかった
6. わからない

→ 問3 3 へ

問3 3 全員におたずねします。相談事業を充実するために（相談したときに満足できるよう）特にどのようなことをすればいいと思いますか。(○は3つまで)

1. 相談員のスキルアップ研修を行う
2. 専門性のある相談員を配置する
3. 気軽に相談できる窓口の数を増やす
4. 専門的な相談機関を整備する
5. 1か所でさまざまな相談に対応できる窓口を整備する
6. 夜間や休日なども相談できる窓口を整備する
7. 相談員が自宅などに来てくれる訪問相談を行う
8. 障害者による相談対応（ピアサポート）を充実する
9. 特にない
10. その他（)

● 障害者の権利を守る取組についておたずねします。

問34 障害者差別解消法を知っていますか。(○は1つ)

障害者差別解消法 (正式名「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」)

は、障害を理由とする差別の解消を推進することに関する基本的な事項や、行政機関、公共団体等及び民間事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置などについて定めています。

1. 法律の内容も含めて知っている
2. 詳しい内容は知らないが、知っている
3. 知らない

問35 あなたは、この5～6年の間に、障害や病気を理由に差別を受けたり、嫌な思いをしたことがありますか。

1. ある → (1)～(4)へ
2. ない → 問36へ

(1) 問35で「1. ある」と答えた方におたずねします。どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(○はいくつでも)

1. 学校・職場
2. 仕事を探すとき
3. 外出先 (買い物など)
4. 余暇を楽しむとき
5. 病院などの医療機関
6. 住んでいる地域
7. その他 ()

(2) それはどのようなことでしたか。(○はいくつでも)

1. 無視された
 2. いやなことを言われた
 3. 暴力をふるわれた
 4. 話しかけたり意見を言ったりしても、相手にされなかった
 5. 一方的に解雇された
 6. 自由に外出させてもらえなかった
 7. 自分のお金や持ち物を無断で使われた、処分された
 8. 職場での労働条件や給料に差をつけられた
 9. 施設やお店の利用や交通機関への乗車を拒否された
 10. 通いたい学校などへの入学を断られた
 11. 希望する住まいを借りる際に、家主や不動産業者に断られた
 12. 結婚や恋愛のときに、相手の家族などから反対された
 13. 周りの人や施設の人から性的な嫌がらせを受けた
 14. その他 [主なもの一つ]
- ()

(3) そのことについて、誰かに相談しましたか。(○は1つ)

1. 相談した → 問36へ
2. 相談しなかった → (4)へ

(4) (3)で「2. 相談しなかった」と答えた方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 相談する人がいないから | 2. 相談先が分からないから |
| 3. 恥ずかしくて相談できないから | 4. 情報漏えいが不安だったから |
| 5. 他人を巻き込みたくなかったから | 6. 相談することでもないと思ったから |
| 7. 他の方法で解決したため | |
| 8. その他 () | |

問36 全員におたずねします。障害者差別解消法ができて、役所や民間事業者（会社やお店など）における、障害のある人への配慮として良くなったと思うこと、改善されたと思うこととして、どのようなものがありますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 段差があるところで、スロープを設置してくれたり職員や社員が手助けしてくれた |
| 2. 講演会や試験などで、扉の近くや見えやすい位置などに座席を設けてもらった |
| 3. 講演会などで、手話通訳者や要約筆記者などを配置してもらった |
| 4. 説明を受ける際に、言葉だけでなく文字にしてもらった |
| 5. 書類を記入する際に、代筆してもらった |
| 6. 意思を伝えあうために絵や写真のカードやタブレットなどを使ってもらった |
| 7. 受付の順番を先にしてもらった |
| 8. 疲労や緊張などに配慮し別室や休憩スペースを設けてもらった |
| 9. 特にない、分からない |
| 10. その他 () |

問37 全員におたずねします。あなたは、成年後見制度について知っていますか。(〇は1つ)

成年後見制度は、本人の預貯金の管理など（財産管理）や、日常生活での様々な契約など（身上監護）について支援を行う制度です。

- | |
|-------------------------|
| 1. 名前も内容も知っている |
| 2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 3. 名前も内容も知らない |

● さいがいの ひなんと
災害時の避難等についておたずねします。

とい かじ じしんとう さいがいの ひとり ひなん
問 38 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つ)

1. できる 2. できない 3. わからない

とい さいがいの はっせい とき ちいき かぞく どうきょしゃいがい たす ひと
問 39 災害が発生した時に地域(家族や同居者以外)であなたを助けてくれる人はいますか。(○は1つ)

1. いる 2. いない 3. わからない

とい ひなん はんだん つか きしょう じょうほう ひなん し じとう ひなんじょうほう にゅうしゅ
問 40 避難の判断に使う気象の情報や避難指示等の避難情報はどこから入手しますか。(○は3つまで)

1. テレビ 2. インターネット 3. ラジオ
4. ひろしましほうさいじょうほう ファクス でんわつうち ふく
広島市防災情報メール(FAXまたは電話通知を含む)
5. ぼうさいぎょうせいむせん かぞく ちじん ちよくせつおし
防災行政無線 6. 家族や知人(直接教えてもらう)
7. アプリ かぞく ちじん でんわ ファクスとう し
8. 家族や知人(電話・FAX等で知らせてもらう)
9. ひろしま し こうしき
広島市公式SNS(Twitter、Facebook、LINE)
10. しゅだん
手段がない
11. その他()

とい かじ じしんとう さいがいの こま なん
問 41 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(○は2つまで)

1. ひつよう とうやく ちりょう う
必要な投薬や治療が受けられない
3. ほ そうぐ にちじょうせいかつようぐ しょう にゅうしゅ こんなん
補装具や日常生活用具の使用や入手が困難になる
4. きゅうじょ もと
救助を求めることができない
5. あんぜん じんそく ひなん
安全なところまで迅速に避難することができない
6. みずか じょうきょう ひつよう しえんないよう しゅうい ひと かぞくとう つた
自らの状況や必要な支援内容を周囲の人や家族等に伝えることができない
7. いりよう き き でんげんかくほ こんなん
医療機器などの電源確保が困難になる
8. とく
特にない
9. その他()

とい す ちいき さいがいの きけんせい さいがいの とき ひなん ひつよう
問 42 あなたは、あなたの住んでいる地域の災害の危険性(どんな災害の時に避難が必要か)を知っていますか。(○は1つ)

1. し
知っている 2. し
知らない

とい ぜんいん さいがいじ ふくしひなんしょ せっち ばあい し
問 4 3 全員におたずねします。災害時に福祉避難所が設置される場合があることを知って
いますか。(○は1つ)

ふくしひなんしょ こうれいしゃ しょうがいしゃ せっち せんもんてき ふくしてき はいりよ
福祉避難所は、高齢者や障害者など、スロープの設置や専門的なケアなど福祉的な配慮が
された避難所であり、状況に応じて設置されます。

し
1. 知っている

し
2. 知らない

とい ひろしまし ひなんじょうほう ばあい さいしょ かいせつ ひなんばしょ しょうがっこうく
問 4 4 広島市では、避難情報を出した場合、最初に開設する避難場所として、小学校区に
一箇所拠点的な指定緊急避難場所を設置しますが、避難所を利用しやすくするために
必要なことは何ですか。(○は2つまで)

ひなんしょ いどう えんじょ
1. 避難所まで移動するための援助

ひつよう せつび ようしき など ととの
2. 必要な設備(洋式トイレやスロープ等)が整っていること

ひなんしょうえい じんてきたいせい かくほ
3. 避難所運営のための人的体制が確保されていること

かぞく いっしょ す
4. 家族と一緒に過ごせること

しょうがい ていど おう たいおう しょうがい りかい え
5. 障害の程度に応じた対応がなされることや障害への理解が得られること

ひつようさいしょうげん まも
6. 必要最小限のプライバシーが守られること

とく
7. 特にな

た
8. その他()

● 障害者施策全般についておたずねします。

問45 今までのお答えを踏まえて、今後、広島市で重点的に進める必要がある障害者施策はどのようなことだと思えますか。(〇は5つまで)

1. 在宅での生活を支援するサービスや、日中活動の場の提供などの福祉サービスを充実すること
2. グループホームなどの障害者の共同住宅を整備すること
3. バリアフリー化された市営住宅を増やすなどの取組を行うこと
4. 道路や建物などの段差を解消するなど、福祉のまちづくりを推進すること
5. 福祉や医療のサービスに係る利用者負担を軽減すること
6. 障害者の就労を促進する取組を行うこと
7. 健康診断を充実するなど、障害者の健康づくりの取組を行うこと
8. 二次障害(元の障害以外の障害。加齢に伴う新たな障害を含む)についての当事者へのアンケートによる実態調査と予防・治療の促進
9. 障害者向けの情報提供サービスを充実するなど、情報・コミュニケーション支援を推進すること
10. スポーツやレクリエーション、文化・芸術活動などの社会参加活動を推進すること
11. 手当や年金を充実すること
12. 障害や障害者への理解を深めるための啓発を行うなど、障害者の権利を守る取組を推進すること
13. 相談や情報を提供する体制を充実すること
14. 成年後見制度を使いやすくすること
15. 親や本人の高齢化に対応したサービスを充実すること
16. 職業に関する教育など、障害者の個々のニーズに対応した教育を充実すること
17. 障害がある子どもと障害がない子どもがともに学ぶ教育を推進すること
18. 放課後や夏休みに活動できる場を充実すること
19. 災害等の非常時の連絡通報・避難体制・相談体制を整備すること
20. 特にない
21. その他 ()

じ ゆ う きに ゆ う ら ん
【自由記入欄】

あなたが、^{ひろしまし}広島市の^{しょうがいしゃふくし}障害者福祉の^{とりくみ}取組について^{おも}思っていることや^{きぼう}希望することなど、
どんなことでも^{じゆう}自由にお書きください。

^{いじょう}以上でアンケートは^お終わりです。^{ご きょうりょく}御協力ありがとうございました。